

商店街が守る！安全安心

万引き防止など訴え

世田谷区商連ら官民協働で

地域コミュニティの安全安心には、商店街を拠点とした地域連携が重要なカギ。都内各地の商店街では、警視庁や消防署等と連携しての実践的な取り組みが続々と登場している。

世田谷区商店街連合会(桑島俊彦会長)では3月17日に、世田谷区および世田谷警察署と連携して安全・安心まちづくりキャンペーンを実施した。今回は初のパレード企画も盛り込まれ、太子堂地域安全センターをスタート地点に、地元交通

少年団の子供たちの先導

により保坂展人区長、桑島会長、地元の加納好昭

三軒茶屋銀座商店街理事

長が、警視庁音楽隊や

鼓隊の賑やかな演出とともにパレード。約800

名の通りを地元各団体

や警察関係者ら約250

名が行進して、買い物客

に自転車利用マナーや万

引防止意識向上、交通安全

などを呼びかけた。

とくに今回は、桑島会

長が広報委員長を務める

東京万引き防止官民合同

会議としても「万引き防

止キャンペーン」横断幕

を掲げてパレードに参加。合同会議に参加する全国万引犯罪防止機構、東京都小学校PTA

協議会、流通システム開

発センター、東京都、警

視庁など関係者とともに、

昨年末の同会議にて

都振連の万引き関連調査

事業の報告を行った齋藤

得彌 同調査事業委員長

(川都振連青年部副部

長)も参加して、万引き

防止への意識向上をと

に広く呼び掛けた。

パレード終了後には三

軒茶屋駅前広場にて、パ

レード参加者らが一堂に

会して式典を開催。主催

者あいさつに立った保坂

区長は、地域の安全安心

地域ぐるみの取り組みが重要だと指摘。続いて桑島会長は、都振連の昨年度の万引き関連の調査事業の結果データにも言及しながら、子供たちの万

引き防止には警察や家庭、商店街などの地域連携が、万引き防止には地域の絆づくりが重要だと、商店街の役割を強調した。



茶沢通りを商店街・警察・PTA・行政がパレード



ウルトラマン像が見守る場で3商店街が自衛消